

## 音楽科学習指導案

題材名「音楽の多様性を理解して、アジア各地の音楽のよさや美しさを味わおう」

教材名 アジアの諸民族の音楽（中学生の音楽1年 教育芸術社）

〔学指要領：B 鑑賞(1)ア(ウ)、イ(ウ)、共通事項(1)ア〕

第1学年 指導者 安藤 千雨

### I 題材の構想

#### 1 題材観

本題材で取り扱う中学校学習指導要領（平成29年告示）解説音楽編の内容は以下のとおりである。

##### 第1学年【B鑑賞】

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。

(ウ) 音楽表現の共通性や固有性

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

(ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性

〔共通事項〕(1) ア・・・音色、旋律、リズム、速度

本題材は、アジア地域の諸民族の音楽を鑑賞することを通して、各音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解し、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことをねらいとしている。

音楽の特徴には、音楽を形づくっている要素だけでなく、その音楽の質感に関することや、それらを取り巻く文化的背景、社会や生活の中での意味合いなど、多岐にわたる側面が含まれる。

アジアの諸民族の音楽は、人間の生活基盤である風土、文化、歴史、伝統、人々の感性や価値観といった音楽の背景と深く結びついて生み出されている。今回教材として扱う「ドゥドック（アルメニア）」「ガムラン（インドネシア）」「カッターリー（パキスタン）」「オルティンドー（モンゴル）」「カヤグム（朝鮮半島）」は、いずれも地域独自の楽器編成や奏法をもつと同時に、生活や社会との結び付きといった共通的な要素を備えている。地域独自の楽器編成や奏法を鑑賞することを通じて、生徒は音楽が人々の生活と結びついていることを実感することができる。

さらに、各音楽の音色、リズム、旋律、速度などの音楽を形づくっている要素ごとに聴き比べ、音楽の特徴を理解することで、音楽表現の共通性や固有性を具体的に考え、「違っていてもそれぞれに意味と価値がある」という多様性の深い理解と尊重の態度を育むことができる。

本題材では、単に音楽の特徴を知識として理解するのではなく、生徒が自らの感性を起点に音楽を聴き取り、音楽を形づくっている要素や文化的背景と関連付けながら、そのよさや美しさを更新していく学びを重視する。複数の音楽を繰り返し聴き比べる過程で、生徒は初発の感想を問いに変換し、知覚したことと感受したことを往還させながら、音楽表現の共通性や固有性を捉え直していく。このような試行錯誤を通して、音楽の多様性を自分事として理解する力の育成を目指す。

このように、生徒は共通性と固有性を探りながら、アジア諸民族の音楽の多様性を理解する力を育むとともに、音楽文化を尊重する態度を涵養することのできる題材である。

#### 2 研究との関わり

本題材は、「子供を主語にした学びの実現を目指して」という研究主題のもと、教師の役割として設定した副主題「子供に学びを委ねる上で、学びの質を高める学習環境の工夫・教師の関わり」を意識して授業を構想した。特に、研究で示した「見方・考え方」「協働的な学び」「価値付け・方向付け」の三つの視点を授業づくりの柱として位置付け、子供が主体的に学びを深めていく姿の実現を目指している。

そこで本実践では、音楽表現の共通性・固有性を捉える視点として、音楽を形づくっている要素とその働きへの着目や、音楽と文化的背景との関連を位置付け、見方・考え方を働かせる視点や協働的な学びを支える視点での教師の役割を想定した。比較ブースや教室配置、ICT環境を整え、生徒が音楽や資料、聴き方、整理方法を選択できるようにするとともに、教師は受容・称賛・問い返し・ゆさぶりを通して伴走的に関わる。これらの手立てが、生徒が音楽の構造と自己の感情とを関連付け、よさや美しさを豊かに味わう鑑賞につながっていたかを検証する。

### 3 題材の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	・アジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。	・曲の印象を感覚的に捉えることはできるが、音楽を形づくっている要素やその働き、音楽と文化的背景との関連に着目して、音楽の特徴を十分に捉えていない生徒が見られる。
思考力、判断力、表現力等	・アジア地域の諸民族の音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、それぞれのよさや美しさを味わって聴く。	・複数の音楽を聴き比べながら共通点や違いに気付くことはできるが、それぞれのよさや美しさについて自分なりの理由を挙げて説明することには個人差がある。
学びに向かう力、人間性等	・アジア地域の諸民族の音楽の特徴に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、音楽の多様性を認め大切にする態度を養う。	・自ら視点を設定して聴き直したり、学び方を調整しながら鑑賞を深めたりすることに課題がある。

### 4 評価規準

知識・技能	①アジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。
思考・判断・表現	①アジア地域の諸民族の音楽の音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 ②アジア地域の諸民族の音楽の音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、それぞれのよさや美しさを味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	①アジア地域の諸民族の音楽の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

### 5 指導及び評価の計画（全4時間）

過程	時間	□学習活動	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価、●評定に用いる評価
つかむ	1	□アジア地域の音楽を聴き比べ、初発の感想や曲の印象を交流しながら、音楽の特徴への関心を高めるとともに、題材全体の学習の見通しをもつ。			○	◆アジア地域の諸民族の音楽を聴き比べ、多様な気付きの共有を通して、アジア地域の諸民族の音楽の特徴に関心をもとうとしている。 <観察・スタートアップシート（態）>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     [題材の課題]                      音楽の多様性を理解して、アジア各地の音楽のよさや美しさを味わおう                 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     [本時のめあて]                      アジア各地の音楽を聴いて、印象に残ったことや確かめたいことを見付けよう                 </div>						
↓						

追 求 す る	2 ・ 3	<input type="checkbox"/> 複数の音楽を選択して比較鑑賞し、音楽を形づくっている要素を手掛かりに知覚したことと感受したことを関連付けながら、音楽の共通性・固有性を追求する。	●	①	◆アジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その背景となる文化や生活との関わり、及びその特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 <観察・記述（知）>  ◆音色、旋律、リズム、速度の要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 <観察・記述（思①）>
[本時のめあて] アジア各地の音楽を聴き比べて、共通しているところやその音楽ならではのよさを見つけよう。					
ま と め る	4	<input type="checkbox"/> 共通性や固有性を踏まえて音楽の多様性について自分なりの考えを整理して紹介文にまとめ、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	●	②	◆これまでの学習を基に、選んだ音楽のよさや美しさを、その音楽表現の共通性や固有性に着目して味わって聴いている。 <紹介文/リーフレット、発表、観察（思②）>  ◆アジア地域の諸民族の音楽の特徴に関心をもち、学習した内容や成果を他者と交流し、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 <紹介文/リーフレット、発表、観察（態）>
[本時のめあて] 選んだ音楽のよさや美しさを紹介しよう					

## II 第1時の学習

1 ねらい アジア音楽の初発の感想や曲の印象を共有する活動を通して、アジア地域の諸民族の音楽の特徴に関心をもつ。

### 2 展 開

主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
1 台湾の交流校の演奏を聴き、題材および本時のめあてをつかむ。 (導入①10分) S：知らない楽器をたくさん使っているな。 S：伝統的な楽器なのかな。	○異文化の音楽への関心を高められるように、台湾交流事業を振り返り、その際の台湾の中学生の演奏を聴いたり、生徒自身の経験に触れたりする場を設定する。
[題材の課題] ( ) を理解して、アジア各地の音楽のよさや美しさを味わおう	

<p>&lt;本時のめあて&gt; アジアの音楽を聴いて、印象に残ったことや確かめたいことを見付けよう。</p>	<p>○生徒が学習を通して（ ）に入る内容を自ら考え、意味付けることができるよう、題材名の一部（多様性）をあえて空欄にして提示する。</p> <p>◎比較鑑賞へ見通しをもてるように、「そのよさや美しさは他の国の音楽では味わえないのか」と問い掛ける。</p>
<p>2 どのように鑑賞するかを考え、学習の見通しをもつ。 （導入②5分） S：話し合いで、考えを広げたいな。 S：他の曲と比べると、よさが分かりそうだな。 S：楽器や旋律について調べてみたいな。</p>	<p>◎生徒が自分なりの視点で、主体的に鑑賞する見通しをもてるように、生徒の初発の気付きを板書し、「どのように鑑賞するとよさが分かりそうか」と問い掛ける。</p>
<p>3 個人でアジア音楽を複数曲聴き、初発の感想や曲の印象を書く。 （展開①10分） S：ガムランは金属音がする。不思議な響きだな。 S：オルティンドーは歌っているな。 S：カヤグムは箏のような楽器の音がしたけど、何て名前の楽器を使っているのかな。</p>	<p>◎生徒が一人でも、グループでも音楽を聴けるように、個々の端末で聴ける音源リンクや、複数人が同時に一つの音源を聴けるイヤホン splitter を用意する。</p>
<p>4 グループで、スタートアップシートを作成し、初発の感想や曲の印象を共有・整理する。 （展開②15分） S：歌の音楽と楽器の音楽がありそうだな。 S：同じアジアでも全然違う音楽だな。 S：カッパーリーと宗教は関係があるのかな。</p>	<p>◎協働によって学びの広がりを実感できるように、「他の人の意見を聞いてどう思ったか」と問い掛ける。</p> <div data-bbox="850 1093 1428 1361" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>アジア地域の諸民族の音楽を聴き、初発の感想や曲の印象を共有する活動を通して、学びの方向性を明確に捉え、アジア地域の諸民族の音楽の特徴に関心をもとうとしている。</p> <p>&lt;観察・スタートアップシート（態）&gt;</p> </div>
<p>5 ログシートを作成し、本時の学習内容を振り返る。 （終末 10分）</p>	<p>◎生徒自身が次時の課題意識をもてるように、ログシートに書かれた気付きや疑問を取り上げ、問い返しを行う。</p>
<div data-bbox="177 1518 1422 1637" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;振り返り&gt; ガムランの金属音が印象的だった。音だけで国の雰囲気が伝わる気がした。 どうしてそう聴こえるのか、詳しく鑑賞したい。</p> </div>	

Ⅲ 第2・3時の学習

1 ねらい 比較ブースや比較シートを活用し、音色、リズム、速度、旋律といった音楽を形づくっている要素とその働きに着目して知覚・感受し、音楽を比較する活動を通して、共通性や固有性を捉え、音楽の多様性を理解できるようにする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (導入5分) S: オルティンドーの歌が印象的だったから、オルティンドーの音楽の特徴を知りたいな。</p> <p>&lt;本時のめあて&gt; アジアの音楽を聴き比べて、共通しているところやその音楽ならではのよさを見付けよう</p>	<p>○ 前時のログシートやスタートアップシートを基に、生徒自身が聴き比べる音楽を選択できるようにする。</p>
<p>2 比較ブースを活用しながらワークシートと比較シートをまとめ、知覚したことと感受したことを往還させながら音楽の特徴を捉えたり、音楽と文化的背景との関連を考えたりする。 (展開40分)</p> <p>【スタートアップシートブース】 これまでに書いた初発の感想や曲の印象を見返し、「何に注目して聴くのか」「どの曲を比べるのか」など、比較の視点を見付ける。 T: どうしてオルティンドーを力強い音楽と思ったのか。 S: 音が延びている。声が高い。発声が特徴的。 歌の音色や旋律に着目して聴いてみよう。</p> <p>【音楽を形づくっている要素の補助資料ブース】 音色・旋律・リズム・速度などの音楽を形づくっている要素についての解説や例示を手掛かりに、音楽を聴き取る視点を明確にしたり、知覚したことと感受したことを結び付けたりする。 S: 金属音がするというのは音色に着目しているのかな。 旋律の特徴は、どのような書き方をするのかな。</p> <p>【国や楽器の写真資料ブース】 写真を基に、演奏の場面や国の風景から、国の様子を想像し、音楽の特徴と文化的背景との関係について考える。 T: カッソーリーはどんな意味がある音楽なのか。 S: メッカだから、宗教的な音楽なのかな。 T: それは音楽にも表れているのか、確認してみよう。</p> <p>【比較シートブース】 ベン図型・表型の比較シートから自分に合う形式を選択し、他の音楽の特徴を聴いた生徒と協働しながら、共通点や相違点を整理し、共通性や固有性を捉える。さらに、完成した比較シートを共有する。 S: 歌がある、という共通点があっても、国や文化によって、音楽の違いがあるな。その音楽の違いを相違点に書いてみよう。</p>	<p>◎スタートアップシートを活用し、初発の感想や曲の印象を問い返しによって音楽を形づくっている要素に結び付け、聴取の視点を生徒自身の言葉から設定させる。</p> <p>○音楽を形づくっている要素の補助資料は、個別に活用できるように、複数枚印刷しておく。</p> <p>◎写真資料ブースを活用し、生徒が捉えた音楽の特徴や写真から想像した文化的背景を生徒の言葉から引き出し、教師は音楽的根拠に立ち戻らせる問い返しを行う。</p> <p>○音楽の捉え方の更新が生まれるように、他者や教材との対話を基に再聴取するよう促す。</p> <p>◆評価項目 ◆アジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その背景となる文化や生活との関わり、及びその特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 &lt;観察・記述(知)&gt;</p> <p>◆評価項目 音色、旋律、リズム、速度などの要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 &lt;観察・記述(思①)&gt;</p>

3 学習内容を振り返る。	(終末5分)
<p>&lt;第2時 振り返り&gt;  オルティンドーは力強いと思っていたが、旋律が長く伸びていて声が高いことに気付いた。  写真や教科書を見ると草原で歌われている音楽と知り、音楽とも関係していそうだった。</p>	
<p>&lt;第3時 振り返り&gt;  はじめは声が高いから力強いと思っていたが、グループで聴き直すと、祝いの音楽だから遠くまで届くような音色や旋律になっているのだと思った。カッターリーとオルティンドーを比べると、どちらも歌のある音楽だが、カッターリーは宗教の音楽で手拍子があり、集団で行う感じがする。一方、オルティンドーは拍が一定ではなく、自由に力強いところがあり、その違いがその国らしさを出していると思った。</p>	

#### IV 第4時の学習

- 1 **ねらい** これまでの学習を基に、共通性や固有性に着目して紹介文又はリーフレットを作成することで、音楽のよさや美しさを自分の考えとしてまとめ、アジア各地の音楽を味わって聴くことができるようにする。

#### 2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。  ・第2・3時で整理した音楽の特徴を共通性・固有性の観点を全体で確認する。(導入15分)  S: 宗教の音楽や祝いの音楽があった。  S: 歌の音楽と楽器だけの音楽もあった。  S: 音色やリズムはその音楽の固有性を紹介するときに書きやすそうだな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;めあて&gt;  選んだ音楽のよさや美しさを紹介しよう</p> </div>	<p>○第2・3時の比較シートやログシートを提示しながら、共通性・固有性の視点で全体共有する。  ○音楽科の学習として押さえておきたい内容を確認するために、全体共有において五つの音楽の特徴を整理する。</p>
<p>2 選んだ音楽のよさや美しさについて、自分なりに考え、音楽を聴き直しながら、紹介文又はリーフレットとしてまとめる。(展開25分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔書き方のヒント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○紹介する理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・初発の感想や曲の印象。</li> <li>・この音楽を選択した理由。</li> </ul> </li> <li>○音楽を形づくっている要素とその働き</li> <li>○文化的背景との関連</li> <li>○比較した内容</li> <li>○よさや美しさ <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ上で、どの点に魅力を感じたか。</li> </ul> </li> </ul> </div>	<p>○紹介文またはリーフレットの書き方に悩んでいる生徒には、音楽を形づくっている要素とその働きや、文化的背景との関連に着目して書くための書き方のヒントを提示する。  ○これまで用いたワークシートや資料を自由に参照できるように継続してブースを設置する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>これまでの学習を基に、選んだ音楽のよさや美しさを、その音楽表現の共通性や固有性に着目して味わって聴いている。&lt;紹介文/リーフレット、発表、観察(思②)&gt;</p> </div>

<p>3 作成した紹介文又はリーフレットを紹介し合い、 題材全体を振り返り、まとめる。 ・題材のめあての( )に「多様性」という言葉が入 ることを知る。(終末 10 分)</p>	<p>○多様な音楽文化を尊重する態度を育成す るために、音楽の多様性が各国の文化や 生活と結び付いていることを生徒の発言 から引き出し、関心を高める。</p>
<p>&lt;振り返り&gt; 宗教や祝いなどの場面がその国の文化や生活と結び付いていることが分かると、より音楽を味 わえた。音楽を形づくっている要素に着目して聴き取ったことで、その音楽らしさがはっきりし た。今回はアジアだったが、世界の音楽文化にも興味をもった。</p>	

V 教室レイアウト／学習材など  
・ワークシート

アジアの諸民族の音楽：2・3時間目

( )年( )組( )番 氏名( )

音楽名( )/国( )

音楽の特徴

① 音楽を形づくっている要素

音色	旋律
リズム	速度

②聴き取ったこと(知覚)と感じ取ったこと(感受)をまとめる。「〇〇な感じがするのは△△だから」

この音楽が( )な感じがするのは、

---

③比べる。「〇〇と比べると、△△だということがわかる」

(音楽名 )と比べると、

---

・音源リンク

♪ アジアの諸民族の音楽 ♪

 <b>ガムラン</b> <small>インドネシア</small> ■ガムラン (インドネシア) .mp3
 <b>カヤグム</b> <small>朝鮮半島</small> ■カヤグム (朝鮮半島) .mp3
 <b>ドゥドゥク</b> <small>アルメニア</small> ■ドゥドゥク (アルメニア) .mp3
 <b>オルティンドー</b> <small>モンゴル</small> ■オルティンドー (モンゴル) .mp3
 <b>カッワーリー</b> <small>パキスタンなど</small> ■カッワーリー (パキスタンなど) .mp3

・比較シート（ベン図型）

## 比較シート①

氏名

比べた音楽

←→

( )

( )

相違点（ちがい）

共通点

相違点（ちがい）

何を比較したのかチェック！  複数可

音色    旋律    リズム    速度    その他

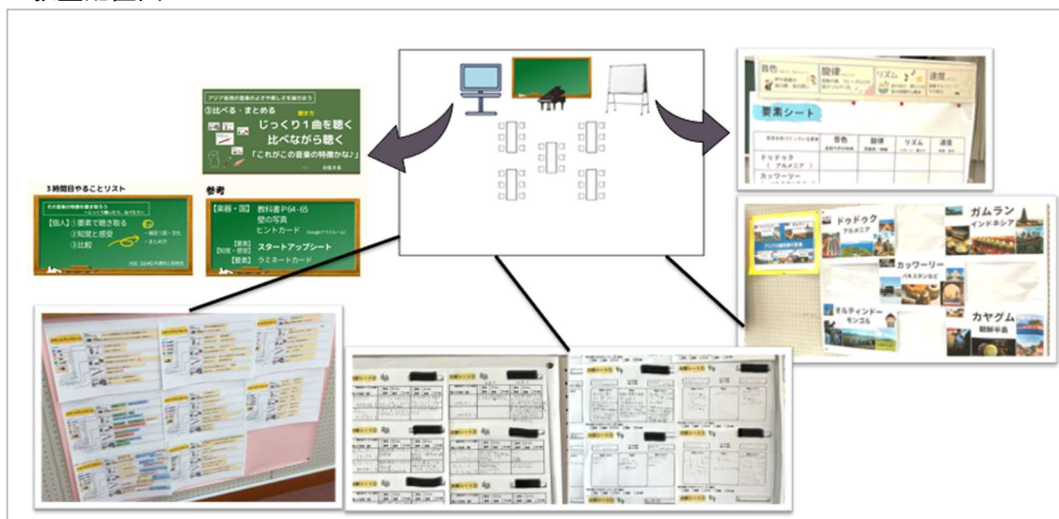
・比較シート（表型）

## 比較シート②

氏名

音楽を形づくっている要素	<input type="checkbox"/> 音色 <input type="checkbox"/> リズム <input type="checkbox"/> 旋律 <input type="checkbox"/> 速度 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 音色 <input type="checkbox"/> リズム <input type="checkbox"/> 旋律 <input type="checkbox"/> 速度 <input type="checkbox"/> その他
選んだ音楽（国）		
( )		
( )		

・教室配置図









・スタートアップシート

**スタートアップシート**

メンバー

- 
- 
- 
- 

<p>朝鮮半島 <b>カヤグム</b></p> 	
<p>モンゴル <b>オルティンドー</b></p> 	
<p>パキスタンなど <b>カッターリー</b></p> 	
<p>アルメニア <b>ドゥドゥク</b></p> 	
<p>インドネシア <b>ガムラン</b></p> 	



・国や楽器の写真資料



**ドゥドゥク**  
アルメニア

**ガムラン**  
インドネシア

**カッターリー**  
パキスタンなど

**オルティンドー**  
モンゴル

**カヤグム**  
朝鮮半島

アジアの諸民族の音楽

# ログシート

\_\_\_年\_\_\_組\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

1~3時間目 

1時間目【知る】 月 日 ( )

印象に残ったこと  
話して面白かったこと  
音楽を聴いて確かめたいこと

振り返り


3時間目【まとめる】 月 日 ( )

今日の自分の学び方  
アジア音楽のよさ  
その音楽のよさ

振り返り

2時間目【比べる】 月 日 ( )

比べて  
わかった！

 自分で書いたもの  
なるほど!と思ったもの

振り返り

フリー (メモ・質問)

アジアの諸民族の音楽

# ログシート

\_\_\_年\_\_\_組\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

4時間目 


4時間目【伝える】 月 日 ( )

選んだ音楽の  
よさや美しさを  
紹介しよう

- ドウドウク
- ガムラン
- カヤグム
- カッターリー
- オルティンドー

文章メイン

- 紹介文 **チラシ**
- リーフレット **宣伝**

COMMENT  “ ” “ ” “ ”

振り返り

・紹介文作成のヒント資料

<p>選んだ音楽の よさや美しさを 紹介しよう</p> <p><input type="checkbox"/> ドゥドゥック <input type="checkbox"/> ガムラン <input type="checkbox"/> カヤグム <input type="checkbox"/> カッワラー <input type="checkbox"/> オルティンドー</p> <p>文章メイン</p> <p><input type="checkbox"/> 紹介文 <b>チラシ 宣伝</b> <input type="checkbox"/> リーフレット</p>	<p><b>ポイント1: どうしてこの曲を紹介したいのか</b> 例えば... ・はじめて聴いたときに「〇〇だな」と感じたから。 ・他の曲にはない「〇〇」などところにおどろいたから。</p> <p>👉 <b>書き方ヒント</b> 「私は、この音楽を聴いて〇〇だと感じたので、紹介したいと思いました。」</p> <p><b>ポイント2: 紹介したい音楽の特徴</b> 例えば... 音 色: 〇〇の楽器の音が、こんな音 リズム: 〇〇のような、くり返すリズム 旋 律: 声の出し方が〇〇で、〇〇の音楽とこんなちがいがあある 速 度: ゆっくり／はやくて、〇〇な感じがする 文 化: この音楽は〇〇の時に演奏されている この音楽は、この国の〇〇な感じがイメージできる その他: この音楽には、〇〇という音の特徴があり、 そこから〇〇な感じが生まれていると思います。</p> <p><b>ポイント3: 聴くときのおすすめポイント</b></p>
---	---